事例No.	1136
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	京都府綾部市

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・事務の共同実施 ・組織改革

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理推進会議を設置し森林経営管理を推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

京都府　綾部市（森林経営管理推進会議を設置し、森林経営管理を推進）

➢ 税活用の方針
① 森林の現況把握を行い、経営管理が行われていない森林を洗い出すとともに、市内全域の森林について森林所有者への意向調査の順番をつける「経営管理意向調査実施計画（長期計画）」　を令和元年度中に作成し、本計画に基づき森林整備を推進する。
② 制度施行から３年間は「モデル地区」を設定し、先行して経営管理（境界明確化・間伐）を実践・検証する中で、取組地域の拡大に向けた課題整理や対策を検討し、今後の森林経営管理制度の推進につなげる。

➢ 令和元年度の事業効果
① 森林の現況把握と所有者情報、施業履歴等から意向調査の順番を決定し、長期計画を作成した。
② モデル地区を設定し、経営管理に必要な境界明確化及び間伐の実施に向けて、意向調査を実施した。

□ 事業内容

森林の現況を把握し、所有者を探索し、エリアを特定して、順次森林経営管法に基づく意向調査を行い、モデル的に森林整備を実施

【事 業 費】1,779千円（事務費・報酬）

①経営管理意向調査実施計画作成事業

森林の現況把握（所有者探索を含む）意向調査の地区・順番を決定

【実　　績】市内全域　21ブロック（施業が必要な対象森林　7,044ha）

②モデル地区経営管理実証事業（２地区）

森林所有者が特定できた森林に対して意向調査及び同意取得を実施

・間伐実施予定地区　　：意向調査を実施

・境界明確化予定地区：事前調査への同意の取付けを実施

【実　　績】（間伐）意向調査　2.68ha、6筆

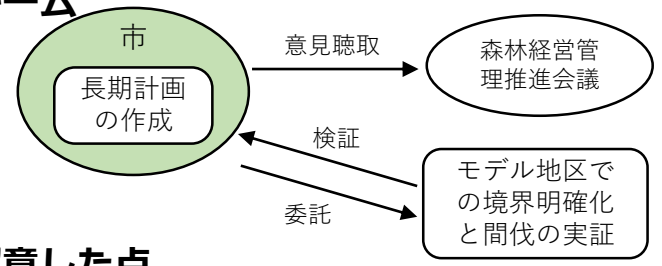
（境界明確化）同意取付　1.44ha、4筆



森林経営管理推進会議（※）での検討状況

※主な構成メンバー
森林・林業や自治会関係者、京都府職員

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 制度施行前から森林組合と継続的に協議を実施し、森林整備の現状、今後の計画及び制度の把握等に努めた。
- 制度施行前に市内全自治会等にアンケート調査を実施し、境界明確化に森林所有者の協力が得られる地区などを把握し、長期計画の作成に活かした。
- 長期計画や経営管理権集積計画の作成に当たり、「森林経営管理推進会議」を設置し、森林所有者の代表や有識者等から意見を伺うことで、取組の公正、過程の透明化等を図った。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	17,759千円
②私有林人工林面積（※１）	9,660ha
③林野率（※２）	76.7%
④人口（※３）	33,821人
⑤林業就業者数（※４）	45人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」